

# HARUYAMA REPORT

株式会社はるやまホールディングス

第48期 年次報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



地域に必要とされるインフラ企業を目指します



正しい努力を重ね  
当たり前前のごことを  
当たり前前にする

代表取締役社長

中村 宏明

商品在庫を極力抑えた新たなモデル店舗として「HARUYAMAゆめタウン博多店」をオープンいたしました。この店舗は、ボディリフレッシュカプセルやフットケアの設置により、セルフボディケアサービスを提供すると同時に、リラックス&リカバリー関連商品も展開し、おしゃれと健康を融合させた店舗でもあります。

これらの結果、第48期におきましては、売上高366億8千5百万円（前期比4.0%減）となりました。利益面は、営業損失27億8千7百万円（前期は営業損失36億8千7百万円）、経常損失23億1千2百万円（前期は経常損失30億1千7百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失78億9千6百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失48億8千万円）の結果となりました。

## 第48期の業績について

第48期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が著しく制限された時期があったものの、ワクチンの普及と感染者数の減少傾向などにより回復への期待感が高まっております。しかしながら、新たな変異株の出現等により未だ収束時期が見通せないまま、先行き不透明な状況が続いております。

衣料品小売業界におきましても、商業施設や街中への人出は徐々に戻りつつあるものの、多様化する消費者のライフスタイルやニーズへの的確、迅速な対応が求められております。

このような環境のもと当社グループは、引き続き「健康」をキーワードとした差別化戦略を展開してまいりました。具体的には、オリジナルブランドの「TOKYO RUN」から、お手頃な価格で着心地が良くケアの簡単なウェアを、より多くのお客様に提供したいという思いで、様々なライフスタイルに対応できる「らくティブスーツ」を発売いたしました。

また、2022年2月には、従来の店舗に比べ売り場面積を半分以下に、

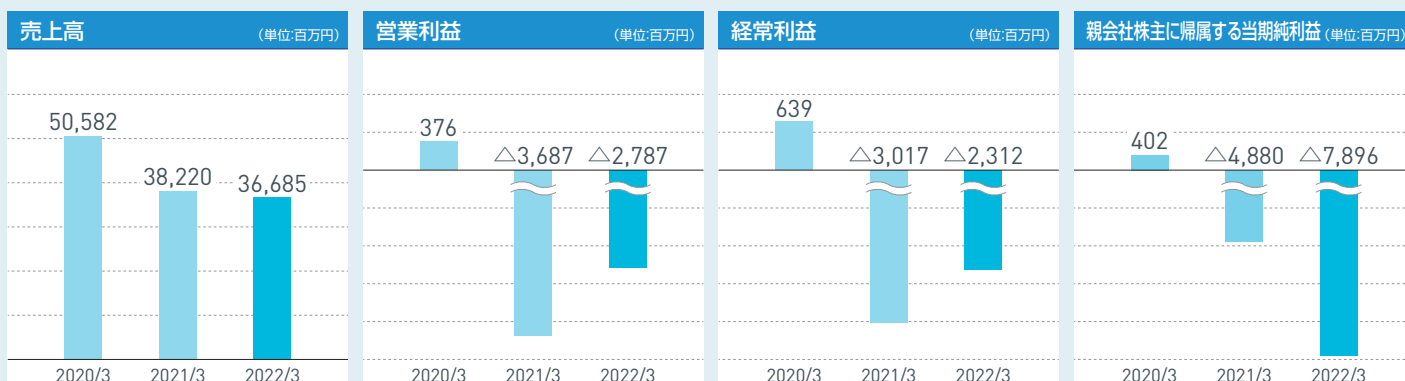
## 今期の見通しについて

今期の見通しといたしましては、ワクチン接種の進展による経済活動の回復が期待されるものの、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症の再拡大や緊迫する世界情勢の影響など、衣料品小売業界におきましても、依然として厳しい状況が続くものと思われまます。

こうしたなか当社グループでは、引き続き「健康」を軸にポストコロナという新たな時代を見据え、多様化するビジネスシーンやお客様のニーズに適合した商品開発を通じてはるやまブランドの価値をより一層高めることで、競合他社との差別化を図ってまいります。

今期の業績につきましては、売上高365億円（前期比0.5%減）、営業利益4億円（前期は営業損失27億8千7百万円）、経常利益6億円（前期は経常損失23億1千2百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益2億円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失78億9千6百万円）を見込んでおります。

## Consolidated Financial Highlights 連結財務ハイライト



## Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日現在)	当連結会計年度 (2022年3月31日現在)
現金及び預金	11,813	12,357
商品	12,660	10,957
その他	5,105	5,490
流動資産	29,579	28,806
有形固定資産	14,834	13,044
無形固定資産	1,135	1,115
投資その他の資産	12,384	8,166
固定資産	28,355	22,326
資産合計	57,934	51,132
流動負債	14,490	14,578
固定負債	11,817	13,066
負債合計	26,307	27,644
株主資本	31,631	23,492
その他の包括利益累計額	△ 11	△ 4
新株予約権	7	—
純資産合計	31,626	23,487
負債・純資産合計	57,934	51,132

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)	当連結会計年度 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)
売上高	38,220	36,685
売上原価	17,032	15,928
販売費及び一般管理費	24,875	23,544
営業利益	△ 3,687	△ 2,787
営業外収益	889	740
営業外費用	219	265
経常利益	△ 3,017	△ 2,312
特別利益	30	137
特別損失	2,480	2,087
税金等調整前当期純利益	△ 5,466	△ 4,262
法人税、住民税及び事業税	141	135
法人税等調整額	△ 728	3,498
当期純利益	△ 4,880	△ 7,896
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 4,880	△ 7,896

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

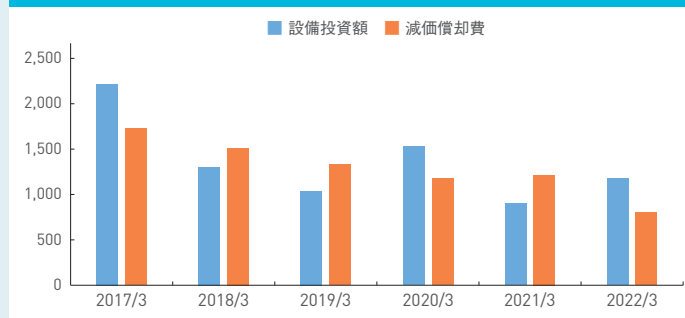
	前連結会計年度 (2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)	当連結会計年度 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,196	△ 1,823
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 674	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,577	2,204
現金及び現金同等物の増減額	△ 293	544
現金及び現金同等物の期首残高	12,106	11,813
現金及び現金同等物の期末残高	11,813	12,357

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## POINT

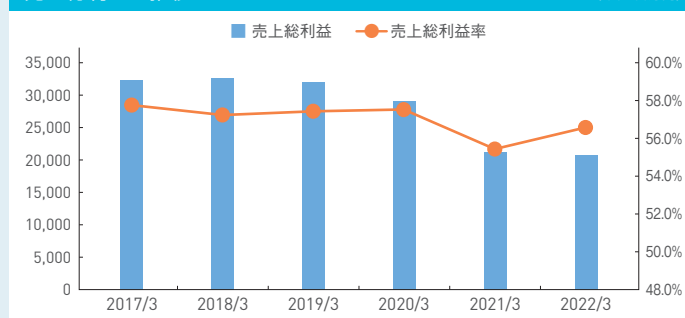
## 設備投資額と減価償却費の推移

(単位:百万円)



## 売上総利益の推移

(単位:百万円)



## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は18億2千3百万円(前期比56.6%減)となりました。これは主に税金等調整前当期純損失を42億6千2百万円計上したこと、仕入債務の減少額が9億8千2百万円あったこと、売上債権の増加額が7億7千1百万円あった一方で、減価償却費の計上が8億2千3百万円あったこと、減損損失の計上が17億9千7百万円あったこと、棚卸資産の減少額が17億2千8百万円あったことなどによるものであります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果獲得した資金は1億6千2百万円(前期は6億7千4百万円の使用)となりました。これは主に新規出店・既存店の改装等による有形固定資産の取得及び差入保証金の差入による支出が2億9千1百万円あった一方で、差入保証金の回収による収入が6億1千2百万円あったことなどによるものであります。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は22億4百万円(前期比51.8%減)となりました。これは主に長期借入による収入が41億3百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が23億7千7百万円あったことに加え、配当金の支払額が2億5千3百万円あったことなどによるものであります。

## Topics トピックス

01 ライフスタイルに寄り添い、  
環境問題にも配慮

オンでもオフでも着られ、新しいライフスタイルにぴったりの「らくティブスーツ」を、その時々ビジネスシーンや季節に合わせてシリーズ展開しています。第48期中の新作としては、春夏向けにポケットの袋布にメッシュ素材を採用するなど、さらっとして涼しげな肌触りの「メッシュニット セットアップ」を発売しました。

また、商品だけでなく、バイオマスプラスチックのハンガーやリサイクル可能な紙素材100%のシャツ什器等の関連資材にも自然環境に配慮した素材を使うなど、サステナブル意識の高まりに随時対応しています。

02 「i-Shirt(アイシャツ)」  
累計販売枚数700万枚突破!

完全ノーアイロン&らくらく360度ストレッチの「i-Shirt (アイシャツ)」が、販売開始からの累計販売枚数700万枚を突破しました。夜洗って翌朝には着られる「吸水速乾機能」、部屋干し対応の「抗菌防臭機能」、ニット素材の「高ストレッチ性」を兼ね備え、仕事もプライベートも充実させたいビジネスパーソンのライフスタイルをサポートしています。

今後も、より快適な着心地とファッション性を目指し、機能性とデザイン性をさらに追求した「i-Shirt (アイシャツ)」シリーズの展開を進めてまいります。



## 03 変化する需要に対応するモデル店舗を出店

2022年2月「HARUYAMAゆめタウン博多店」をオープンしました。この店舗は前述の「第48期の業績について」でご案内しましたとおりのモデル店舗ですが、売り場面積と在庫を抑えながら従来と同様のサービスを提供するため、iPadを通じてオンラインショップの在庫情報を共有し、お客様にご満足いただける商品提案に努めています。

また、専用のオーダースペースを完備し、お客様のパーソナルなご要望にお応えすることにも取り組み、より幅広いお客様層のご来店を想定しています。



※画像はイメージです。

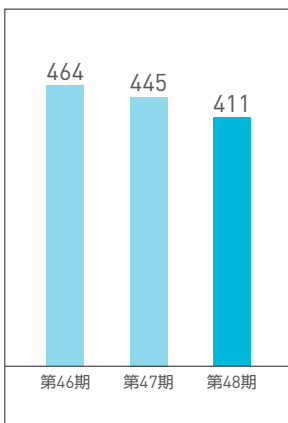
■ 当期(第48期)の出退店

(単位:店舗)

	出店	退店
はるやま商事株式会社	8	42
はるやま	1	6
P.S.FA	4	24
フォーエル	1	10
トランスコンチネンツ	0	2
その他	2	0
株式会社モリワノ	0	0
計	8	42

■ 期末店舗数

(単位:店舗)



Corporate Data / Stock Information 会社情報 / 株式情報

■ 会社の概要

(2022年3月31日現在)

商号	株式会社はるやまホールディングス
設立	1974年11月6日
資本金	39億9,136万8,000円
本社	岡山市北区表町一丁目2番3号
主な事業内容	グループ戦略立案及び各事業会社の統括管理及び不動産賃貸借
役員 (2022年6月29日現在)	取締役会長 治山正史
	代表取締役社長 中村宏明
	取締役 清水夏子
	取締役 井上重光
	常勤監査役 澤味聡嗣
	監査役 中川雅文
監査役 光岡敬一	
主な子会社 (※は非連結)	はるやま商事株式会社 株式会社モリワノ 株式会社ミック 株式会社マンチェス 株式会社ミッド・インターナショナル 田原コンサート株式会社※ スネイルジャパン株式会社※
従業員数	連結 1,286名 単体 13名

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主 確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 実施する場合は、毎年9月30日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所(スタンダード市場)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。 公告掲載アドレス <a href="http://www.haruyama.co.jp/">http://www.haruyama.co.jp/</a> 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

■ 株式情報

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	16,485,078株 (うち自己株式 128,174株)
株主数	32,683名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社はるか	1,810,000	11.06
治山正次	1,759,456	10.75
治山邦雄	1,498,722	9.16
有限会社岩渕コーポレーション	1,324,500	8.09
株式会社四国銀行	727,540	4.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	724,700	4.43
治山正史	487,072	2.97
はるやま社員持株会	389,481	2.38
治山美智子	358,892	2.19
岩渕典子	349,900	2.13

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度

100株以上ご所有の方へ

15%割引券

見本

+

ネクタイ または ワイシャツ プラウス

贈呈券 1枚進呈!

● 所有株数に応じて15%割引券進呈!	
100株～ 499株	2枚
500株～ 999株	4枚
1,000株～ 2,999株	6枚
3,000株～	10枚

(注)贈呈券は税込6,600円以下の商品が対象となります。なお、税込6,600円を上回る商品は、差額をお支払いいただけます。

※毎年3月31日時点の株主さまに6月末発送いたします。